

**令和6年度第1回四国中央市部活動地域移行検討委員会  
会議録**

|               |                                                                                                                                                                                                           |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 会議名        | 令和6年度第1回四国中央市部活動地域移行検討委員会                                                                                                                                                                                 |
| 2. 日 時        | 令和7年2月17日（月）19:00～20:15                                                                                                                                                                                   |
| 3. 場 所        | 中曽根公民館 大ホール                                                                                                                                                                                               |
| 4. 出席者        | 委 員：11名<br>藤田恭二、近藤泰久、井川方典、高橋信行、石川幸雄、近藤和明、毛利雅彦、永尾周三、渡邊真介、渡部振一郎、脇展子<br>教育委員会：3名<br>教育長 東 誠<br>教育管理部長 合田 秀人<br>教育指導部長 高橋 哲也<br>事 務 局：6名（文化・スポーツ振興課4名、学校教育課2名）<br>文化・スポーツ振興課長 山田 仁美 以下3名<br>学校教育課長 石川 典英 以下1名 |
| 5. 傍聴者        | 一般0名<br>報道関係者0名                                                                                                                                                                                           |
| 6. 会議の公開      | 公開                                                                                                                                                                                                        |
| 【会議内容】        |                                                                                                                                                                                                           |
| 1. 開会         |                                                                                                                                                                                                           |
| 2. 開会のあいさつ    | 四国中央市教育委員会教育長 東 誠                                                                                                                                                                                         |
| 3. 委員長・副委員長選出 | 委員の互選により、昨年度に引続き<br>委員長 藤田 恭二 委員<br>副委員長 渡部 振一郎 委員 が就任                                                                                                                                                    |
| 4. 議事         | (1) 愛媛県内他市の事例等について<br>事務局より概要説明<br>(委員長)<br>県内各市町方向性が定まっていない状況のなかで、モデル事業に取り組んだけれども検討課題が多く出ているように受け取れる。学校や地域クラブ、それぞれの立ち位置での意見もあると思う。各立場で他市町の事例も参考にしながら考えていってもらいたい。事務局から追加で説明はあるか。                          |

(事務局)

県内各市町にも聞き取りを行ったが、自治体ごとに違う取組み方があるので、最終的には四国中央市にあった「四国中央市モデル」を作っていく必要があると考える。引続き情報収集を行い、本市にあった手法を検討していきたい。

(2) 休日の部活動地域移行に係る現状把握調査について

事務局より概要説明

(委員長)

学校を対象としたアンケートになるが、先生方はどのように考えるか。

(委員)

来年度新入生が入ってからアンケートを行うようになっているが、今の状況を知っておくためにも、今年度中にアンケートを行った方が良いと考える。

(委員)

このアンケートは中学校にある部活動を対象としているので、クラブ化しているものは対象外となる。部活動の情報集約はこのアンケートで可能だが、部活動に所属せずに地域クラブに所属している生徒も多くなってきているので、全体の実態を把握するためには、アンケートの対象範囲を広げることも考えないといけない。

(委員)

質問の7番「休日の部活動を地域移行した際の先生自身の関わり方について」の回答で、「Ⅲ全く関わりたくない」という回答を選んだときに、先生自身に不利にならないような配慮は必要と感じた。必須でなければ質問を削除してもよいのではないか。

(事務局)

このアンケートが休日の部活動を地域移行するためのアンケートなので、質問としては時期尚早な面もある。質問項目として必要か再検討したい。

(委員)

令和4年度に学校教育課で教職員を対象としたアンケートも行っているので、参考になると思う。どういう形で地域に任せるか見通しがないと、教員の立場での答えも変わってくるのではないか。色々なクラブがあるなかで、どういう形のものが四国中央市のスタイルに適しているかをこの検討委員会で話し合っていく必要があると考える。

(委員長)

今の意見について、事務局から何かあるか。

(事務局)

生徒のことを第一に考えると、最終的に誰にでも地域に任せていいわけではない。あるクラブに地域移行したが、将来性や継続性がないと結局は生徒が困ることになる。そのような点も踏まえたうえで、検討委員会に方向性を諮っていきながら地域移行を進めていきたい。今回は、アンケートについてご意見をいただいたが、来年度はさらに詳しい地域移行の内容をご相談したい。

(委員)

アンケートは新年度に行うか？

(事務局)

当初は新年度と考えていたが、先ほどの意見も踏まえたうえで今年度中に行うことも検討したい。

(委員)

新年度になると教職員の異動もあるので、新顧問では答えにくい可能性がある。顧問の先生が代わると、外部指導者も代わる場合もある。先ほども意見として挙げたが、今年度中に行っておいた方が良く考える。また、今後一番困るのはお金の問題。また、特に吹奏楽部の場合だと大きな物の移動も大変になる。教師や保護者、それぞれの立場で地域移行という言葉は聞いたことがあるだろうが、最終どんな形になるか見えていない状況。他市、他県の色んな情報があれば、委員会の中でも共有してもらいたい。

(事務局)

文化部の情報についても、先進地の情報を得ながら参考にできるものがあれば共有していきたい。

(3) 今後のスケジュールについて

事務局より概要説明

(委員長)

松山市の資料を見ると、活動の実施に至るまでのプロセスが記されている。このような細かい検討事項はあると思うが、その前段階としての1年間の大きなスケジュール、というイメージでよいか。

(事務局)

スケジュールのビジョンは大きく、細かなことは記載していないが、実施に至るまでの進め方としては松山市の方法に近いと思う。モデル事業を進めていくうえで、こちらから対象の部活動を選定することが難しい。それぞれの部活動でもできることが異なると思うので、ヒアリング等を行い、関係者の協力も得ながら事業を進めていきたい。

## 5. 意見交換

(委員)

現状誰でも手を挙げれば生徒たちを受け入れることができる状況にある。だが、指導者やクラブ含め将来性があるか、健全な指導ができるかは、保護者が気にしているところだと思う。学校教育の部分で、部活動が地域移行化されるに伴い、これまで学校で行っていた教育、部活動の目的や定義などが疎かにならないかが心配。この検討委員会で、何を目的として地域移行の仕組みづくりをするのが大事になると思う。予算配分の面でもどのように支援を行うか考えていかないといけない。また、地域クラブが総体等に参加するようになって、強ければいいという態度やマナーを守らないチームも目立つようになると思う。これまで部活動で大事にしてきた礼儀やマナーは、地域移行が進んでも引続き教えていかないといけない。

(委員長)

保護者や現場が一番困っているところだと思う。今の意見について事務局から何かあるか。

(事務局)

推進計画等はこれから策定していくことになるので、今後も引続きご意見をいただきたい。例えば部活動においては休日等が定められている。内容についての検討課題は多く、すぐに答えが出るものではないが、引続き検討委員会で議論しながら進めていきたい。

(委員)

地域移行にあたっては、総合型スポーツクラブも受け入れの対象になると思う。総合型クラブの研修会でも、地域移行について学ぶことが多くある。スポーツ庁の職員が来たり、先進的に行っている自治体の事例について聞いたりもした。他市町でも地域移行のモデル事業が行われているが、全体としての動きはまだまだできていないように感じる。研修でも言っていたが、地域移行にも様々な形があり、主体が違えば動きも少し異なる。実際には競技団体だけでなく、地域に関わっている団体等の力も借りながら進めていく必要がある。また、保護者の立場からすると、誰でも指導できるわけではなく、信頼できる持続可能な団体に任せているかどうかにも気になるのではないか。これから策定する推進計画においても、基本的な考えをどうするのか、何に重きを置くのかを検討していく必要があると思う。

(委員)

スポーツ少年団に長年関わってきて、最近関係者から部活動がない、人数が少なくてチームが組めない、という声をよく聞く。スポーツをしたいけど、部活動がないために、市外のチームに流れるケースも増えている。市内で引続き頑張ってもらえるように、保護者などとも話をしながら課題解決に取り組んでいきたい。

(委員)

昨年も話したが、スポーツ少年団は各地域にあるので、受け皿になることができると思う。スポーツ少年団の理念として、勝つことだけでなく人や地域との交流を大事にしているので、健全育成の部分では非常に良いのではないかな。また、地域移行の受け皿となる地域クラブに対

しても早く説明等行わないといけないと思う。来月3月に市スポーツ指導者協議会主催でスポーツ少年団やスポーツ協会の加盟団体、中学校等を対象とした地域移行に関する説明会を行う。そこには県スポーツ協会や現在他市町で地域移行の受け皿となっている地域クラブ、本市で自主的に活動しているクラブが来て講演を行うので、委員のみなさんも参加いただけるとありがたい。

(委員)

スポーツ協会の立場で40以上の競技団体と話をするなかで、各団体ともに非常に興味や熱意を持っていると感じている。この検討委員会で議論が進み、早く前向きに進んでいくことを各団体望んでいると思う。

(委員長)

最後に教育委員会の立場から何かあるか。

(教育委員会)

先日、市内クラブチームの卒団式に出席したところ、3年生が3名しかいなかった。長年活動しているクラブでも、そのような状況になっている。人数が少ない時期もあり、市外のクラブと合同チームで試合に参加していたこともあると聞いた。関係者と話をするなかで、小学生や中学生に関わらず、スポーツ離れが進んでいることから、まず身体を動かす楽しさを知ってもらう場を提供することが大事なのではないか、という話になった。その先に、やりたいスポーツが見つかると思うので、まずスポーツをするための下地を作っていくことも必要になると考える。

(委員長)

また、事務局が個別にご相談等も行うと思う。次回の検討委員会開催に向けて準備を進めていくと思うので、アンケート含め調整等を進めていってほしい。

(委員)

本来検討委員会はもう少し頻繁に行われるべきであると思う。流れを決めることは大事だが、まだまだ協議しないといけないことが多い。集中して取り組むべき時期だと思うので、遠慮なく会を開いてほしい。

(委員)

学校側の実態を把握するのはもちろんだが、地域の実態を把握することも大事。例えばスポーツ少年団には小学生しかいないが、中学生を受け入れることも検討できる、という話があったように、競技団体によっても考えが異なると思う。地域移行を行うためには、まだまだ調整を行わないといけない。学校と地域クラブを並行して調査していくことも必要だと考える。

## 6. 事務連絡

(事務局)

先ほどアンケートの実施時期についてご意見をいただいたが、今年度中に一度行う方向で調整してよいか。

→異議なし。

## 7. 閉会